

災害見舞金支給調査書

組合員氏名	共済 太郎		り災日時		
組合員証記号番号	〇〇〇 - 〇〇〇〇〇		自 令和〇年〇月〇日 10時 至 令和〇年〇月〇日 11時		
り災の場所	〇〇市〇〇町〇-〇-〇〇				
り災の状況 及びその顛末	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">り災の状況及びその顛末については、具体的に記入してください。</div> 令和〇年〇月〇日午後10時頃、数日前から降り続いた雨により自宅裏山が崩れ、土砂が1階窓を突き破り、家の中に流れ込んだ。 1階の家財はほとんどが使用不能となった。				
り災の程度		住居については、り災前の住居の価値を記入してください。			
住居又は家財の名称	見積額		備考		
	り災前(円)	損害(円)	り災率(%)		
住居	15,000,000	7,850,000	52.33		
家財	家具	3,150,000	1,750,000	55.56	寝具類 その他
	衣類	2,500,000	800,000	32	衣類・靴
	その他	7,210,000	4,720,000	65.46	自動車・電化製品 ・台所用品等
	計	12,860,000	7,270,000	56.53	
認定	給料の 2ヶ月分		家財については、家財り災報告書に記載された金額を記入してください。		
り災状況の写真又は見取図	別紙のとおり		調査年月日	令和〇年 〇月 〇日	
	り災状況の写真は、家屋全景及び損害箇所の写真を添付してください。 この欄には、「別紙のとおり」と記載のうえ、写真には「どの損害箇所なのか」わかるように明記し提出してください。		調査担当者	〇〇	
			職氏名	〇〇 〇〇〇	
			調査立会人	〇〇〇〇	
			職氏名	〇〇〇 〇〇	
			備考		
		理事長	り災状況を確認された担当の方の記名押印をお願いします。		

- 備考
1. 「り災状況及びその顛末」欄は写実的に具体的に記入のこと。
 2. り災の程度「備考」欄には住居の構造等を記入のこと。
 3. 家財の名称欄は、家具、衣類等主要なものとし、その他はその合計額により記入のこと。
 4. 浸水の程度により、損害の程度を認定する場合は住居と家財を包含して適用し、住居について2階以上の場合は、その階数を備考欄に記入のこと。
 5. 見積額は社会通念による時価とすること。